

175

2020. 11. 15

長崎郵趣

風に吹かれて...

ギリシア神話の風の神々

アテネのローマ時代のアゴラ（アクロポリスの丘）に建つ「風の塔」は、紀元前二世紀から一世紀の間に建造されている。この塔は日時計・水時計・風向計を組み合わせた高さ 14m の八角形の大理石の建造物で風の塔の壁面はそれぞれが基本方位に向いて、それぞれの面上部には、対応する方角を表す風の神がレリーフで飾られている。屋根の上にはトリトンの像が据えつけられ、風の向きを示すようになっていたが、今は失われている。



風の塔（ホログダイオン）



ボレアス（北風）



ノトス（南風）



アビオリテス（東風）



リップス（南西風）

ゼフィロス（西風）
ギリシア 1942

カイキアス（北東風）



アビオリテス



カイキアス



ボレアス



エウロス（南東風）



スキロン（北西風）

ギリシア 1943

風に吹かれてⅡ
伊東弘章

九月初旬の台風10号は、史上最強、伊勢湾台風以上の勢力をもった台風であり、「最大級の警戒を要す」と呼びかけられて恐怖心を抱き、皆さんも最強台風の襲来に備えての対策に迫られ、走られたことでしょう。家屋補強や防災備品、水、食料の買い出しに…。

私もこれらの品を求めて出かけるも既に売り切れ、新型コロナ流行初期のマスク、消毒液の商品棚が空っぽのとき同様。また各地域の避難所は、前日から満員になったという。

7日未明から朝にかけて最接近した台風は、ごうごうと風音を鳴らし恐怖心をあおる。TVの台風情報は、長崎市野母崎で最大瞬間風速59.4メートル。観測史上最大の記録…の速報も。だが台風10号は、結果的に北上中に勢力をやや弱め、それなりの被害を出すも、甚大災害を起こすまでに至らなくて幸いだった。

このように風は、台風や突風など強烈な風となり災害をもたらす怖い要因にも。でも夏の暑さを過ぎると秋風に癒される季節をむかえます。

「長崎郵趣171」で様々な「風」を紹介しましたが、風にはまだ色々なテーマがあり今回、「風」のパートⅡとして再び“風に吹かれて…”を紹介しました。

【リーフ紹介】

1. (表紙) ギリシヤ神話の風の神々

アテネ・アクロポリスの丘に建つ大理石の「風の塔」。その八角形の壁面上部には、それぞれ壁面が対応する方角の風の神のリーフで飾られている。

2. 風を知る気象観測

気象観測には欠かせない風を知る風力計。高速道などで見かける吹流しも風を目視で知る簡易な方法である。

3. 風とふれあい

子どもたちが自然の風と遊ぶ玩具などを集めてみた

4. ふうせん

紙・ゴムなどで作った球状の袋に、空気または水素ガスをつめてふくらませた玩具。リーフ「風とふれあい」の一つでふうせん（風船）をテーマに。

5. 紙ひこうきから模型飛行機へ

紙ひこうきで遊んだ子供たちは・・・やがて模型飛行機を作って風に挑戦。リーフはプロペラの無いグライダーに絞って整理している。

6. ふんわり風をつかめ バルーンに乗って

佐賀で1980年から例年実施されている「佐賀インターナショナル・バルーンフェスタ」は、アジアで最大の大会として80万人の観客を集め、89年にはアジアで初めての世界選手権が行なわれた。

7. なぜヨットは風上へ進むのか

ヨットの本質は風の力によって進む（帆走）ということである。ヨットの帆は飛行機の翼と同じく風を受けて揚力を発生。作用反作用と揚力の二つの力を推進力としている。

8. 風と植物 タンポポ

タンポポ（蒲公英）は花が咲き終わると、花茎は一旦倒れ、数日後に再び立ち上がり先端にできる果実は、綿毛（冠毛）の付いた種子を作り、綿毛を球状に展開して風によって飛び散る

9. 風のアート 風紋

荒野に広がる真っ白な砂丘は光によって表情を変え、風によって刻まれた風紋はまさに自然のアート。特に美しいのが、朝や夕方の斜光線が射す時間帯。波打つ“風紋”が、斜光線により影とともに浮き立つように視界に現れてくる。

風に吹かれて...

風を知る気象観測

測候所や天文台、飛行場、塔、山頂、船舶などに風向・風速をはかる装置として、風力計が設置されている。また、高速自動車道などでは“吹き流し”が設置されているのをよく目にする。これも風向きや風力が簡単に計測できる方法の一つである。また風速計には、風杯型、風車型、超音波式の種類がある。



気象台の屋上には風力計が
日本 1949



インド 1975



エジプト 1997



イラン 1990



富士山測候所 (2006 年刊) にも、よく見ると風速計が設置されている
日本 1965



天文台 (上部に風速・風向計)
イギリス 1990



ニジェール 1989



中国 1998



チャド 1969



リビア 1969

ラジオゾンダ (気球) による上空の観測
※ラジオゾンダは、高層大気の状態、風速、風向、風向等の気象要素を観測する気象観測器です。

2-3

風に吹かれて...

風とふれあい

♪・・・かぜかぜ ふくふ シャボン玉 とぼそ・・・と、紅色に輝き ふんわりと浮かぶ “シャボン玉” や “ふうせん”、クルクル回る “かざぐるま” など幼児、児童らの子供の遊びは数えきれない。男の子は紙飛行機を折り風にのせて飛ばしている。それにタコ (魚) あなど、自然の中で風とふれあいの遊びが多くある。端午の節句には子供の成長を願う “こいのぼり” が 風をうけて青空を泳いでいる。



フランス 1997



シャボン玉 日本 2010



白鳥飛来 日本 1979



紙飛行機 ブラジル 1978



風 韓国 1989



851-2026
長崎県
伊東弘章 絵
日本 2017

風に吹かれて...

“ふうせん”



アルゼンチン 1996



オーストラリア 2012



日本 2010



オーストラリア 2001



イスラエル 2012



スロベニア 1990



メキシコ 2017



エストニア 2007



エストニア 2007



アルジェリア 2008



ルクセンブルグ 1970



トルコ 1992



台湾 2008

4-5

風に吹かれて...

紙ひこうきから模型飛行機へ

おりがみの紙ひこうきを折って、小学高学年から中学生の頃にかけては模型飛行機づくりを楽しんだものだった。当時はライトプレーンといって、細長い紙袋に図面と胴体・竹ひご・ニュー管・紙・プロペラ・ゴムの部品が入っていた。それらの部品を組み立てるのだが、翼の先端部は折ひこうきを図面に合わせて曲げなければならぬ。ローソクと水を用意して、炭で炙りながら要領よく曲げていく。下手すると炭で焦ってしまふことも。こうして出来上がった模型飛行機を広場で飛ばし、滞空時間が長いほど上手にできた飛行機だ。今思えば、風 にのせて遊んだ数少ない飛行機作りだった。

模型飛行機にはグライダー式とプロペラ式がある。近年はラジオ操縦の高級な模型飛行機も興じられている。



ハンガリー 1954



ハンガリー 1954



トルコ 1957



中国 1958



ハンガリー 1943



韓国 1981



スロベニア 1990



ポーランド 1981

